武立して解言、解析できるよう になり、電域のでは、電視場場の 観念を理解し、簡単な言葉のでは、電視場場の 観念を理解し、簡単な言葉の性にものは、一般などのでは、電視場の 観念を理解し、簡単な言葉の性にものは、一般などのでは、電視場の 観念を理解し、簡単な言葉の様には でこなかった概念や、実際の共振 「国際の異に対していた。電源国際に対していたでは、一般などの		丰上耒向专	等專門学校	開講年度 令和03年度 (2	2021年度)	授業科目	電気工学			
野田田田	科目基	礎情報								
接種			2021-0	98	科目区分	専門/選	张			
超生										
選佐				が 利			2			
部金別教材		T		-4- 1						
国本教理		¥h++		* 延行が乾後 コロナケナントバブロン	1	2				
部連合目標 画師のではナールの活別やコルニホッツの報告を持った回節方程にお立てて確か、傾行できるように入り、単語では、					<u>' </u>					
自当印除ではオームの法則や非人にホッフの報告を使った回路方理を入って発売し、解析できるようになり、限度数では、飛起現めの概念を受した意実の時を対策を含め、文流の動作が連邦できる。 1. 一ブリック 正面回路 にはオームの法則や非人にポッフの報告を使った回路方程 ボッフの報告を使った回路方程 ボックの報告を使った回路方程 ボックの場ではままり ボックに関係していった電気の第・ ボックの場ではまました。 ボックの場ではままり ボックに表していった電気の第・ ボックの場ではままり ボックに表していった電気の第・ ボックの場ではまるのの第やでは要がまる。 「あいたの場ではまるのの影やでは要がまる」 「あいたの場ではまるのの影やでは要がまる」 「あいたの場ではまるのの影やでは要がまる」 「あいたの場ではまるのの影やでは要がまる」」 「あいたの場ではまるのの影やでは要がまる」」 「あいたの場ではまるのの影やでは思えたいった電気の第・ ボックの場ではまるのの影やでは思えたいった電気の第・ ボックの場ではまるのではまる。 ボックの場ではまるのの影がまる。 「あいたの場ではまるのの影がまる」」 「おいたの場ではまるのの影がまる」」 「おいたの場ではまるのの影がまる」」 「あいたの場ではまるのの影がまる」」 「おいたの場ではまるのの影がまる」」 「おいたの場ではまるのの影がまる」」 「おいたの場ではまるのではまるのの影がまる」」 「おいたの場ではまるのではまるのの影がまる」」 「おいたの場ではまるのではまるの影がまる」」 「おいたの場ではまるのではまるのの影がまる」」 「おいたの場ではまるのではまるのではまるのではまるのではまるのではまるのではまるのではまるの				主,小村 元憲						
類、両単は計算もできる。となる。交流回路では南波数や位相といった直流回路には出てこなかった概念や、実際の共振回路や受圧器とい レープリック 世空回路ではオームの法則やサル にホッフの結合を使うた回路方程 にボッフの結合を使うた回路方程 にボッフのは、解析できるよう したる。交流回路ではオームの法則やサル にボッフの結合を使うた回路方程 にボッフのは、解析できるよう したる。交流回路ではは減速 かたが起くいった電気回路・ はまる対象にはまた。交流回路ではは減速 かたが起くいった電気回路・ はまの動作が理解できる。 一般を管理が、したる。交流回路ではは減速 かたが起くいった電気回路・ 議画の動作が理解できる。 一部経済といった電気回路・ 議画の動作が理解できる。 一部経済といった電気回路・ 議画の動作が理解できる。 「は水田・教育日程 (本相のみ) 3 3 数有方法等 関理										
自画的語ではオームの注射や中川	解し、簡	単な計算も	できるように	こなる。交流回路では周波数や位相とい	立てて解き、解析で つった直流回路には出	きるようになり てこなかったM	O、電磁気では、電磁現象の概念を理 概念や、実際の共振回路や変圧器とい			
自画的語ではオームの注射や中川	ルーブ	リック								
回回路ではオームの決勝性や手				理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベル	レの目安	未到達レベルの目安			
	直流回路	ふではオーム	の法則やキル							
により、電磁気では、電磁現象の はきを連弾し、静中に対すたできた。 総をを連弾し、静中に対すたできた。 数や位相というた直列の路には対 でこなかった地域の路 変やの様といった直列の路には対 でこなかった地域の路 を関すさる。 要の機力を対するといったを気の路 を関する。 要の機力を対するといったを気の路 を関する。 要の機力を対するといったを気の路 を関する。 要の機力を対するといったを気の路 を関する。 要の機力を対するといったを気の路 を関する。 要の機力を対するといった地気の路 を関する。 要の機力を対するといった地気の路 を関する。 要の機力を対するといった地気の路 を関する。 要の機力を対するといった地気の路 を関する。 要の機力を対するといった地気の路 を関する。 要の機力を対するといった地気の路 を関する。 要の機力を対するといった地気の路 を関する。 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといった地気の路 を関するといるとは、 を関するといるのはませましてください。 を関するといるのはませまして、こちがあります。 と変をの属性・履修上の区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいの区分 はたいのとのは、また地では、まための表の表のでは、といの法別、接触のあるを教員による度 を関するといるのようには、まための表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表の表	ヒホッフ	7の報告を使	った回路方程	呈 ヒホッフの報告を使った回路方程	ヒホッフの報告を係	吏った回路方程	ヒホッフの報告を使った回路方程			
3ようになる。交流回路では周囲 が中的性というたと、一般では一般では一般では一般では一般では一般である。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数世の動作が単端できる。 本語の目を「はれつか】 3 数育方法等	式を立て にかり	.て解き、解 雷磁気では	析できるよう 電磁現象の	り 式を立てて解き、解析できるよう り にかり 電磁気では 電磁現象の	式を立てて解き、第	解析できるよう ± 雷磁钼象σ) 式を立てて解き、解析できるよう) にかり 電磁気では 電磁現象の			
3ようになる。交流回路では周囲 が中的性というたと、一般では一般では一般では一般では一般では一般である。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数中でが出ている。できた。 数世の動作が単端できる。 本語の目を「はれつか】 3 数育方法等	概念を理	解し、簡単	な計算もでき	🗄 概念を理解し、簡単な計算もでき	概念を理解し、簡単	単な計算もでき	概念を理解し、簡単な計算もでき			
でこなかった概念や、実際の共振	るように	なる。交流	回路では周辺	皮 るようになる。交流回路では周波 b	一るようになる。交流	紀回路では周波	7 るようになる。交流回路では周波			
回路や変圧器といった竜気回路・ 装置の動作が現作できる。	女で位作 てこかか	3といつた直)った概念や	派四路には出	1 数や似怕といつに固流回路には出 1 てこなかった概念や = 室の共振	数や位相といった値 てこなかった概念や	ョボ凹路には出 9. 実際の共場	i			
議画の動作が呼解できる。 装置の動作が手解できる。 装置の動作が理解できる。 装置の関係	回路や変	圧器といっ	た電気回路・	回路や変圧器といった電気回路・	回路や変圧器といっ	った電気回路・	回路や変圧器といった電気回路・			
学科の到達目標項目との関係	装置の動	作が理解で	きる。	装置の動作がよく理解できる。						
学科の到達目標項目との関係 【本校学習・教育目標(本科のか)】 3 数育 万法 歴史	評価項目	2								
本校学習・教育目標(本科のみ)] 3	評価項目	13								
本校学習・教育目標(本科のみ)] 3	学科の	到達日標]	項目との関	图係						
大変										
直流回路、電磁気、交流回路について学ぶ。 直流回路ではオームの法則等の基礎を学び、キルヒホッフの法則で回路の解析を行い、電力や電力量の概念を理解する。 電磁気、ではカレミックの法制ではの機能が回路と称して構象する。 電磁気の機能が関係を関係して対象を関係に関すると対象を関係に関すると自立を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を関係に関するファラデーの法則と対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対			赤 (本) 10,00	7) 1 3						
原業の進め方・方法		法等								
要業の進め方・方法	既要		直流回路	8、電磁気、交流回路について学ぶ。						
なお、前期はおが、後期は小村が担当する。試験の目程や学生の理解度によって多少進度を調節する可能性がある。 1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 受業の属性・履修上の区分	授業の進	め方・方法	直流回路。電磁気	子ではオームの法則等の基礎を学び、キ 「ではフレミングの法則などの目に見え 、な流の概念や実際の機器や同路と終め	ルヒホッフの法則で[ない電気的な物理現象 で課業する	回路の解析を行 象を扱う。交流	テい、電力や電力量の概念を理解する 記回路では、直流回路と電磁気の知識			
1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 2.授業外部			なお、前	文派の概念や美際の機器や固路と格め 期はおが、後期は小村が担当する。試	に開我する。 験の日程や学生の理解	解度によって多	多少進度を調節する可能性がある。			
・										
受業 の属性・ 履修上の区分 □ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 受業計画 □ 授業内容 週ごとの到達目標 1週 直流回路 (1) 起電力と極圧降下、オームの法則 授業概要の 説明とあわせて行う 2週 直流回路 (2) 電気抵抗の直列と並列、分流と分圧 3週 直流回路 (3) ブリッシ回路 4週 直流回路 (4) キルヒホッフの第一、第二法則 5週 直流回路 (5) キルヒホッフの第一、第二法則 6週 直流回路 (6) 電力、電力量 7週 中間まとめ 試験解説とまとめ 8週 静磁気 (1) 磁石・静磁気に関するクーロンの法則 9週 静磁気 (2) 磁力線 磁界の強さと磁束密度 10週 電磁誘導 (2) 個力線 磁界の強さと磁束密度 11週 電磁誘導 (2) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と表手の法則、直流回転機 13週 静電気 (1) 静電気に関するクーロンの法則 13週 静電気 (2) 電気力線。電位と電圧 13週 静電気 (2) 電気力線。電位と電圧 13週 静電気 (2) 電気力線。電位と電圧 15週 前期まとめ 試験解説とまとめ 14週 静電気 (2) 電気力線。電位と電圧 15週 前期まとめ 試験解説とまとめ 16週 電気誘導 (1) 静電気に関するクーロンの法則・電界の強さと電気の法則・直流回転機 (2) 電気力線、電位と電圧 13週 静電気 (2) 電気力線、電位と電圧 13週 交流回路 (2) 複素数とベクトル 2週 交流回路 (1) 複素数とベクトル 2週 交流回路 (2) 複素数とベクトル 2週 交流回路 (3) 交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (4) 交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (4) 交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (4) 交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (3) 交流の服念 位相と位相差 5週 交流回路 (4) 交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (4) 交流の概念 位相と位相差	注意点									
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授 受業計画 週 授業内容 週ごとの到達目標 (1) 起電力と電圧降下、オームの法則 授業概要の説明とあわせて行う (2) 電気抵抗の直列と並列、分流と分圧 (3) ブリッシ回路 (4) キルヒホッフの第一、第二法則 (5) キルヒホッフの第一、第二法則 (6) 電力、配置 (6) 電力、電力・第二法則 (6) 電力・取回 (7) 週 中間まとめ (6) 電力・取回 (7) 週 中間まとめ (7) 週 中間まとめ (7) 週 中間まとめ (7) 週 静磁気 (1) 磁石、静磁気に関するクーロンの法則 (7) 電磁誘導 (1) 電磁誘導に関するファラデーの法則、レンツの活力 (2) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と左手の法則、直流回転機 (3) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と左手の法則、直流回転機 (3) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と (2) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と (3) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と (1) 複乗数・相互誘導、フレミング右手の法則と (1) 複乗数・相互誘導、フレミング右手の法則と (1) 複乗数・相互誘導、フレミング右手の法則と (1) 複素数・配位と電圧 (1) 複素数と不クトル (2) 電索力・線 電位と電圧 (1) 複素数と不クトル (2) 複素数とベクトル (2) 複素数とベクトル (3) 交流の概念 交流波形 (4) 交流の概念 位相と位相差 (4) 交流の概念 位相と位相差 (5) 交流回路 (4) 交流の概念 位相と位相差 (5) 交流回路 (4) 交流の概念 位相と位相差 (5) 交流回路 (4) 交流回路 (4) 交流回路 (4) 交流回路 (5) 交流回路 (4) 交流回路 (5) 交流回路 (5) 交流回路 (5) 交流回路 (5) 交流回路 (5) 交流回路 (5) 交流回路 (6) 交流回路 (6) を (7) を (2.授業参	観される数量は当該授業が行われる少						
受業計画 週 授業内容 週ごとの到達目標 1週 直流回路 (1) 記電力と電圧降下、オームの法則 授業概要の説明とあわせて行う 2週 直流回路 (2) 電気抵抗の直列と並列、分流と分圧 3週 直流回路 (3) ブリッジ回路 4週 直流回路 (4) キルヒホッフの第一、第二法則 5週 直流回路 (5) キルヒホッフの第一、第二法則 6週 直流回路 (6) 電力、電力量 7週 中間まとめ 試験解決とまとめ 8週 静磁気 (1) 磁石、静磁気に関するクーロンの法則 10週 電磁誘導 (1) 電磁誘導に関するファラデーの法則、正規と支手の法則、直流回転機 11週 電磁誘導 (2) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と支手の法則、直流回転機 13週 静電気 (3) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と支手の法則、直流回転機 13週 静電気 (2) 電気力線 14週 静電気 (2) 電気力線、電位と電圧 15週 前期まとめ 試験解説とまとめ 16週 (1) 複素数とペクトル 2週 交流回路 (2) 複素数とペクトル 2週 交流回路 (2) 複素数とペクトル 2週 交流回路 (2) 複素数とペクトル 4週 交流回路 (4) 交流回路 4週 交流回路 (4) 交流回路 (4) 交流回路 (4) 交流回路 (4) 交流回路 (4) 交流回路 (5) 交流回路 位名と位相差 5週 交流回路 (5) 交流回路の検索数、指数、極座標表記	授業の			断とれるが来る当時大米が日かれても	なくとも1週間削に教	科目担当教員	へ連絡してください。			
週 授業内容 週ごとの到達目標		属性・履作			なくとも1週間削に教	科目担当教員	へ連絡してください。			
週 授業内容 週ごとの到達目標	□ アク		修上の区分	}		放料目担当教員				
週 授業内容 週ごとの到達目標	□ アク		修上の区分	}		放料目担当教員 				
1週		ティブラーニ	修上の区分	}		放料目担当教員 				
150		ティブラーニ	<u>修上の区分</u> ニング	} □ ICT 利用	□ 遠隔授業対応		□ 実務経験のある教員による授業			
1stQ		ティブラーニ	<u>修上の区分</u> ニング 週	} □ ICT 利用 授業内容	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目	□ 実務経験のある教員による授業 標			
1stQ		ティブラーニ	<u>修上の区分</u> ニング 週	} □ ICT 利用 授業内容	□ 遠隔授業対応 週 (ごとの到達目21) 起電力と6	□ 実務経験のある教員による授業 票 電圧降下、オームの法則 授業概要の			
1stQ 1stQ 直流回路 (4) キルビホッフの第一、第二法則 (5) キルビホッフの第一、第二法則 (6) 電力、電力量 (6) 電力、電力量 (6) 電力、電力量 (7週 中間まとめ 試験解説とまとめ (1) 磁石、静磁気に関するクーロンの法則 (2) 磁力線、磁界の強さと磁束密度 (1) 電磁誘導 (2) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と (2) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と (3) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と (4) 育曜気 (1) 静電気 (1) 静電気に関するクーロンの法則、電流回転機 (1) 静電気に関するクーロンの法則、電流の重も機 (1) 静電気 (2) 電気力線 電位と電圧 (1) 静電気 (2) 電気力線 電位と電圧 (1) 静電気 (2) 電気力線 電位と電圧 (3) 自己誘導と相互誘導		ティブラーニ	修上の区分 ニング 週 1週	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応 週 (説	ごとの到達目 1) 起電力と 明とあわせて	□ 実務経験のある教員による授業 標 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う			
5週		ティブラーニ	<u>修上の区分</u> ニング 週 1週 2週	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応 週 (説	ごとの到達目7 1) 起電力と7 明とあわせて7 2) 電気抵抗	□ 実務経験のある教員による授業 票 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧			
1		ティブラー:	<u>多上の区分</u> ニング 週 1週 2週 3週	受業内容 直流回路 直流回路	□ 遠隔授業対応 週 (説 (ごとの到達目4 1) 起電力と5 明とあわせて7 2) 電気抵抗 3) ブリッジ	□ 実務経験のある教員による授業 票 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路			
予週 中間まとめ 試験解説とまとめ (1) 磁石、静磁気に関するクーロンの法則 (2) 磁力線、磁界の強さと磁束密度 (1) 電磁誘導に関するファラデーの法則、レンツの法則 (2) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と左手の法則、直流回転機 (3) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と左手の法則、直流回転機 (3) 自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と左手の法則、直流回転機 (1) 静電気 (1) 静電気に関するクーロンの法則、電界の強さと電力が線 (1) 神電気に関するクーロンの法則、電界の強さと電力が線 (1) 神電気に関するクーロンの法則、電界の強さと電力が線 (1) 神電気に関するクーロンの法則、電界の強さと電力が線 (1) 神電気に関するクーロンの法則、電界の強さと電力が線 (1) 神電気に関するクーロンの法則、電界の強さと電力が線 (2) 電気力線、電位と電圧 (3) 基準とのクトル (3) 交流の路 (3) 交流の概念 交流波形 (4) 交流の概念 交流波形 (4) 交流の概念 交流波形 (4) 交流の概念 位相と位相差 (5) 交流回路 (4) 交流の概念 位相と位相差 (5) 交流回路 (5) 交流回路の複素数、指数、極座標表記		ティブラー:	<u>多上の区分</u> コング 週 1週 2週 3週 4週	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目4 1) 起電力と1 明とあわせて7 2) 電気抵抗0 3) ブリッジ 4) キルヒホ	□ 実務経験のある教員による授業 標 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路 ッフの第一、第二法則			
日本		ティブラー:	修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目 1) 起電力とで明とあわせて 2) 電気抵抗 3) ブリッジ 4) キルヒホ 5) キルヒホ	□ 実務経験のある教員による授業 標 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路 ッフの第一、第二法則 ッフの第一、第二法則			
新期9週静磁気(2)磁力線、磁界の強さと磁束密度10週電磁誘導(1)電磁誘導に関するファラデーの法則、レンツの法則 法則11週電磁誘導(2)自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と左手の法則、直流回転機 (3)自己誘導と相互誘導、フレミング右手の法則と左手の法則、直流回転機13週静電気(1)静電気に関するクーロンの法則、電界の強さと電気力線14週静電気(2)電気力線、電位と電圧15週前期まとめ試験解説とまとめ16週(1)複素数とベクトル2週交流回路(2)複素数とベクトル3週交流回路(3)交流の概念 交流波形4週交流回路(4)交流の概念 位相と位相差5週交流回路(5)交流回路の複素数、指数、極座標表記		ティブラー:	修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応 週 (((((ごとの到達目7 1) 起電力とで明とあわせて7 2) 電気抵抗(3) ブリッジ(4) キルヒホ 5) キルヒホ(6) 電力、電	□ 実務経験のある教員による授業 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路 ッフの第一、第二法則 ッフの第一、第二法則 カ量			
10週 電磁誘導		ティブラー:	修上の区分 ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応 週 (((((ごとの到達目7 1) 起電力とで明とあわせて7 2) 電気抵抗(3) ブリッジ(4) キルヒホ 5) キルヒホ(6) 電力、電	□ 実務経験のある教員による授業 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路 ッフの第一、第二法則 ッフの第一、第二法則 カ量			
10週 電磁誘導		ティブラー:	修上の区分ニング週1週2週3週4週5週6週7週	計画 ICT 利用 授業内容 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 でである。 である	□ 遠隔授業対応 週 (((((((((((((ごとの到達目/ 1) 起電力とで 明とあわせて/ 2) 電気抵抗(3) ブリッジ(4) キルヒホ 5) キルヒホ 6) 電力、電 験解説とまとの	□ 実務経験のある教員による授業 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路 ッフの第一、第二法則 ッフの第一、第二法則 カ量			
2ndQ 12週 電磁誘導 左手の法則、直流回転機 13週 静電気 (1)静電気に関するクーロンの法則、電界の強さと電気力線 14週 静電気 (2)電気力線、電位と電圧 15週 前期まとめ 試験解説とまとめ 16週 (1)複素数とベクトル 2週 交流回路 (2)複素数とベクトル 3週 交流回路 (3)交流の概念 交流波形 4週 交流回路 (4)交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (5)交流回路の複素数、指数、極座標表記	授業計	ティブラー:	<u>多上の区分</u> ニング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週	受業内容 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路	□ 遠隔授業対応 週 (前 (((((((((((((ごとの到達目7 1) 起電力と7 明とあわせて7 2) 電気抵抗 3) ブリッジ 4) キルヒホ 5) キルヒホ 6) 電力、電 験解説とまと6 1) 磁石、静	□ 実務経験のある教員による授業 悪 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路 ッフの第一、第二法則 ッフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則			
2ndQ 12週 電域の多等 左手の法則、直流回転機 13週 静電気 (1)静電気に関するクーロンの法則、電界の強さと電気力線 14週 静電気 (2)電気力線、電位と電圧 15週 前期まとめ 試験解説とまとめ 16週 (1)複素数とベクトル 2週 交流回路 (2)複素数とベクトル 3週 交流回路 (3)交流の概念 交流波形 4週 交流回路 (4)交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (5)交流回路の複素数、指数、極座標表記	受業計	ティブラー:	修上の区分二ング週1週2週3週4週5週6週7週8週9週	対 □ ICT 利用 授業内容 直流回路 市徹気	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目(1) 起電力と(3) ブリッジ(4) キルヒホ(5) キルヒホ(6) 電力、まと(1) 磁石、(静(2) 磁研談等(1) 電磁誘導	□ 実務経験のある教員による授業 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路 ッフの第一、第二法則 ッフの第一、第二法則 カ量 め が数気に関するクーロンの法則 滋界の強さと磁束密度			
美期 135回 財産気 電気力線 14週 静電気 (2)電気力線、電位と電圧 15週 前期まとめ 試験解説とまとめ 16週 グ流回路 (1)複素数とベクトル 2週 交流回路 (2)複素数とベクトル 3週 交流回路 (3)交流の概念 交流波形 4週 交流回路 (4)交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (5)交流回路の複素数、指数、極座標表記	授業計	ティブラー:	修上の区分	対 □ ICT 利用 授業内容 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 電流回路 電磁誘導	□ 遠隔授業対応 週 ((((((((((ごとの到達目7 1) 起電力と7 2) 電気抵抗 3) ブリット 4) キルヒホ 5) キルヒホ 6) 電力、まと 1) 磁石、線 2) 磁力線、導 1) 電磁誘導 則 2) 自己誘導	□ 実務経験のある教員による授業 悪 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路 ツフの第一、第二法則 ツフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と			
15週 前期まとめ 試験解説とまとめ 16週 (1)複素数とベクトル 2週 交流回路 (2)複素数とベクトル 3週 交流回路 (3)交流の概念 交流波形 4週 交流回路 (4)交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (5)交流回路の複素数、指数、極座標表記		ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	修上の区分二ング週1週2週3週4週5週6週7週8週9週10週11週	対して ICT 利用 授業内容 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目 1) 起電力で 2) 電気抵抗 3) ブキルヒホ 5) キルヒホ電 5) キルヒホ電 6) 電力、ままと 1) 電磁ス 2) 磁ので 3) 直記、 1) 電がで 1) で 1) で 1) で 3) 自己 3) 自己 3) 自己 3) 百法	□ 実務経験のある教員による授業 悪 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路 シフの第一、第二法則 シフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と と相互誘導、フレミング右手の法則と			
15週 前期まとめ 試験解説とまとめ 16週 (1)複素数とベクトル 2週 交流回路 (2)複素数とベクトル 3週 交流回路 (3)交流の概念 交流波形 4週 交流回路 (4)交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (5)交流回路の複素数、指数、極座標表記	受業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	修上の区分	□ ICT 利用 授業内容 直流回路 電磁誘導 電磁誘導	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目 1) 起電力で 2) 電気抵抗 3) ブキルヒホ 5) キルヒホ電 5) キカルヒホ電 6) 解説 磁石、線 1) 電力とまる 1) 電域 で 1) で 1) で 3) で 3) が 3) が 4) キカルト 1) で 1) で 3) で 3) が 3) が 4) に 4) キカルト 1) で 1) で 3) が 3) が 4) に 4) に 5) に 6) に 6) に 7) で 8) が 8) が 9) で 9) で 9) で 9) で 9) が 9) が 9) が 9) が 9) が 9) が 9) が 9) が	□ 実務経験のある教員による授業 霊 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行う の直列と並列、分流と分圧 回路 シフの第一、第二法則 シフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と 充回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 充回転機			
5期 16週 (1) 複素数とベクトル 3 rdQ 1週 交流回路 (2) 複素数とベクトル 3週 交流回路 (3) 交流の概念 交流波形 4週 交流回路 (4) 交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (5) 交流回路の複素数、指数、極座標表記	受業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	修上の区分 二ング 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週	□ ICT 利用 授業内容 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 車流回路 車流回路 車流回路 中間まとめ 静磁気 静磁気 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目 1) 起電力で 2) 電力とで 3) ブキルヒト 5) 電力とも 6) 電力と石、線 5) 電力と石、線 1) 電力と石、線 1) のの 1) の 1)	□ 実務経験のある教員による授業 霊			
接期1週交流回路(1)複素数とベクトル3週交流回路(2)複素数とベクトル3週交流回路(3)交流の概念 交流波形4週交流回路(4)交流の概念 位相と位相差5週交流回路(5)交流回路の複素数、指数、極座標表記	受業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	修上の区分週1週2週3週4週5週6週7週8週9週10週11週12週13週14週	□ ICT 利用 授業内容 直流回路 車磁気回路 中間まとめ 静磁気 静磁気 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目 1) はある気 2) 電力でで 3) ブキルレセ 5) キ電力とで 6) キルレヒ、 6) 解 磁 みま 6) 電 磁力 誘 1) 関 2) の電 は自己則 1) カ 1) カ 1) カ 1) カ 1) カ 2) な 3) の 3) の 3) の 3) の 3) の 3) の 3) の 3) の	□ 実務経験のある教員による授業 悪 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行うの直列と並列、分流と分圧 回路 ツフの第一、第二法則 ツフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 充回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機			
支期2週交流回路(2)複素数とベクトル3週交流回路(3)交流の概念 交流波形4週交流回路(4)交流の概念 位相と位相差5週交流回路(5)交流回路の複素数、指数、極座標表記	受業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	修上の区分プラング週1週2週3週4週5週6週7週8週9週10週11週12週13週14週15週	□ ICT 利用 授業内容 直流回路 車磁気回路 中間まとめ 静磁気 静磁気 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導	□ 遠隔授業対応	ごとの到達目 1) はある気 2) 電力でで 3) ブキルレセ 5) キ電力とで 6) キルレヒ、 6) 解 磁 みま 6) 電 磁力 誘 1) 関 2) の電 は自己則 1) カ 1) カ 1) カ 1) カ 1) カ 2) な 3) の 3) の 3) の 3) の 3) の 3) の 3) の 3) の	□ 実務経験のある教員による授業 悪 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行うの直列と並列、分流と分圧 回路 ツフの第一、第二法則 ツフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と を直回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と を回転機			
3月交流回路(3) 交流の概念 交流波形4週交流回路(4) 交流の概念 位相と位相差5週交流回路(5) 交流回路の複素数、指数、極座標表記	受業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	 修上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 6週 7週 8週 10週 11週 12週 13週 14週 15週 16週 	□ ICT 利用 授業内容 直流回路 車磁気 静磁気 静磁気 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導	□ 遠隔授業対応 週 (i)	ごとの到達目 1明と配って 2) 記あって 3) ブキルト、 5) キョカと、線 6) 解説 磁 石、線 語 1) の 磁 で 自法自法自治 静線 1) の は 日 説 自 記 自 記 自 記 自 記 自 記 自 記 自 記 自 記 自 記 自	□ 実務経験のある教員による授業 標 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行うの直列と並列、分流と分圧 回路 ツフの第一、第二法則 ツフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と 充回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 充回転機 関するクーロンの法則、電界の強さと 電位と電圧			
4週 交流回路 (4)交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (5)交流回路の複素数、指数、極座標表記	受業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	修上の区分 週 1週 2週 3週 4週 5週 8週 9週 10週 13週 14週 15週 1週	□ ICT 利用 授業内容 直流回路 車磁誘車とめ 静磁気 静磁気 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 静電気 前期まとめ 交流回路	□ 遠隔授業対応 週 (i)	ごとの到達目 1 (1) (2) (2) (2) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (5) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	□ 実務経験のある教員による授業 標 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行うの直列と並列、分流と分圧 回路 ツフの第一、第二法則 ツフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁気に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と たの転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と でと相互誘導、フレミング右手の法則と のと相互対域と のと相互対域と のと相互対域と のと相互対域と のと相互対域と のと相互対域と のと相互対域と のと相互対域と のと相互対域と のとを のと のと のと のと のと のと のと のと のと のと			
4週 交流回路 (4) 交流の概念 位相と位相差 5週 交流回路 (5) 交流回路の複素数、指数、極座標表記	受業計	ティブラー <u>:</u> 画 1stQ	修上の区分 週 1週 2週 3週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 16週 10週 2週	□ ICT 利用 授業内容 直流回路 重磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 市電気 前期まとめ 交流回路 交流回路	□ 遠隔授業対応 □	ごとの到達目2 1) の到達目2 2) 配数電力とで 2) 記あ電リルドス 5) 中電説のでは、1) でででは、1) ででででである。 1) でででは、2) では、2) では、2) では、3 1) では、3 1) では、3 1) では、3 1) では、4 2) では、4 2) では、4 2) では、4 3 5 1) では、5 3 5 1) では、5 1) では、6 1) では、6 1) では、7 2) では、7 3 5 6 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 9 8 9 8 9 8 9 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 8 9 8 9 8 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 9 8 8 9 8 8 9 8 9 8 9 8 8 9 8	□ 実務経験のある教員による授業 標 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行うの直列と並列、分流と分圧 回路 ツフの第一、第二法則 ツフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 関するクーロンの法則、電界の強さと 、電位と電圧 め			
	受業計	更 IstQ 2ndQ	修上の区分 週 1週 2週 3週 6週 7週 8週 9週 10週 11週 12週 13週 16週 10週 2週	□ ICT 利用 授業内容 直流回路 重磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 市電気 前期まとめ 交流回路 交流回路	□ 遠隔授業対応 □	ごとの到達目2 1) の到達目2 2) 配数電力とで2 3) ブルルヒ、まのではがいる。 4) キルルヒ、まのではがいる。 5) 中電説を値入して3 6) 解解磁磁力磁力・では、第 2) 磁電磁 自法自法自法自法自治的では、第 2) のの、計解では、第 5) 自法自法自己的では、第 5) のの、計解では、第 5) を表数との、数をは、数との、数をは、数をといる。 5) を表数との、3	□ 実務経験のある教員による授業 標 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行うの直列と並列、分流と分圧 回路 ツフの第一、第二法則 ツフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機			
	授業計	更 IstQ 2ndQ	多上の区分 過 1週 2週週 3週週 6週週 7週週 8週週 10週週 11週週 12週週 16週週 1月週週 1月週 1月週 1月週 1月月日 1月月日 1月月日 1月日 1月日<	□ ICT 利用 授業内容 直流回路 車磁気 静磁気 静磁気 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 市電気 前期まとめ 交流回路 交流回路 交流回路	□ 遠隔授業対応 □ 週 (説 () () () () () () () () () () () () ()	ごとの到達目 1) のの電力とで 2) で記あの電力とで 3) ブルルト、まで 5) 中電力・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 実務経験のある教員による授業 標 電圧降下、オームの法則 授業概要の 行うの直列と並列、分流と分圧 回路 ッフの第一、第二法則 ッフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と 流回転機 と対して、電位と電圧 め			
	受業計	更 IstQ 2ndQ	修上の区分 週 1 2 週 4 3 8 9 10 1 11 1 12 1 13 1 14 1 15 1 16 1 17 1 18 1 19 1 10 1 11 1 12 1 13 1 14 1 15 1 16 1 </td <td> □ ICT 利用 授業内容 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 車流回路 車流回路 車端気 静磁気 静磁気 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 市電気 静電気 静電気 前期まとめ 交流回路 交流回路 交流回路 交流回路 交流回路</td> <td>□ 遠隔授業対応 週 () () () () () () () ()</td> <td>ごとの到達目(1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4</td> <td>□ 実務経験のある教員による授業 悪工降下、オームの法則 授業概要の 行うの直列と並列、分流と分圧 回路 ツフの第一、第二法則 ツフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と を直回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と でクトル での流域 をして での流域 をして での流域 での流域 での流域 での流域 での流域 での流域 での流域 でのため での流域 でのため でのを でのを でのを でのを でのを でのを でのを でのを</td>	□ ICT 利用 授業内容 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 直流回路 車流回路 車流回路 車端気 静磁気 静磁気 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 電磁誘導 市電気 静電気 静電気 前期まとめ 交流回路 交流回路 交流回路 交流回路 交流回路	□ 遠隔授業対応 週 () () () () () () () ()	ごとの到達目(1) (1) (1) (2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	□ 実務経験のある教員による授業 悪工降下、オームの法則 授業概要の 行うの直列と並列、分流と分圧 回路 ツフの第一、第二法則 ツフの第一、第二法則 カ量 め 磁気に関するクーロンの法則 磁界の強さと磁束密度 に関するファラデーの法則、レンツの と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と た回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と を直回転機 と相互誘導、フレミング右手の法則と でクトル での流域 をして での流域 をして での流域 での流域 での流域 での流域 での流域 での流域 での流域 でのため での流域 でのため でのを でのを でのを でのを でのを でのを でのを でのを			

		7週	交流回路			(7)交流回路のインピーダンスとベクトル図				
		8週	中間まとめ	試験解説とまとめ						
		9週	交流回路			(8) 交流回路のインピーダンスとベクトル図				
		10週	交流回路				(9)共振回路			
		11週	交流回路			(10)共振回路				
	4+1-0	12週	交流回路			(11)交流電力				
	4thQ	13週	交流回路 交流回路			(12)交流電力				
		14週				(13)交流電力				
		15週	総括		試験解説と総まとめ					
		16週								
モデルコ]アカリ	リキュラムの	学習内容と到達	全日標						
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目	 学習内容の到達目標				到達レベル 授業週	
評価割合	<u> </u>	·	·					•	·	
		試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他		合計	
総合評価割合		100	0	0	0	0	0		100	
基礎的能力		0	0	0	0	0	0		0	
専門的能力	J	100	0	0	0	0	0		100	
分野横断的	能力	0	0	0	0	0	0		0	
分類 評価割合 総合評価割合		対野 試験 100 0 100	学習内容 発表 0 0 0	学習内容の到達目 相互評価 0 0 0	態度 0 0 0	0 0 0	0 0 0		合計 100 0 100	